

戦略 5 先進地「やまなし」を叶える道

「山梨県総合計画」政策別実施状況

戦略	5	先進地「やまなし」を叶える道
----	---	----------------

政策	1	地域経済の収益力向上	計画掲載施策数	21
【政策の基本的な考え方】 本県の基幹産業である機械電子産業の優れた技術の蓄積を生かしながら、新たな技術等を取り入れるとともに、起業・創業の促進を図ります。 また、生活の様々な場面で利用できる本県の地場産品について、アート性の高いデザインを活用した高付加価値化を図るとともに、山梨暮らしの豊かさ、快適さをPRすることにより、産地の魅力向上や海外への販路拡大に取り組みます。 観光産業では、観光DXの導入等により観光地経営の高度化に取り組むとともに、地域資源の磨き上げや、自然を生かしたアクティビティの充実等により、観光客の多様なニーズに対応した付加価値の高い観光地づくりに取り組みます。また、本県ならではの美食文化の展開による「グルメン・エコノミー（美食経済）」で賑わう地域づくりを推進します。 農林畜水産業では、首都圏などの国内市場に加え、中東・アジアなどの海外市場において、ブランド力強化と販路拡大を進めるとともに、ICTを活用した生産性向上や付加価値の高い農林畜水産物の開発及び生産拡大による収益力向上に取り組みます。 さらに、コーポレートブランド「やまなし」の価値を高め、地域経済の好循環の創出を図るため、次世代社会を構成する5つのハイクオリティな価値及び4つのプロモーションテーマを設定し、「ハイクオリティやまなし」のキャッチフレーズのもと、未来志向の一体的・戦略的なプロモーションに全庁を挙げて取り組みます。				
令和7年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担 当 部 局
	○ 水素エネルギー社会実現に向けた実証研究、次世代エネルギーシステムの構築		P.170	企 業 局
	○ スタートアップ創出・誘致・定着の促進		P.170	産 業 政 策 部
	○ 「テストベッドの聖地やまなし」の展開と社会実装の支援		P.171	新価値創造推進局
	○ 企業立地の促進		P.171	産 業 政 策 部
	○ ライフスタイル・プロダクトの推進		P.172	産 業 政 策 部
	○ 世界の銘醸地 山梨の確立		P.173	産 業 政 策 部
	○ 地域ブランドプロモーションの推進		P.174	高度政策推進局
	○ 「デザイン先進県」の構築		P.175	高度政策推進局 外
	○ 「高付加価値型の観光産業」への進化の促進		P.176	観光文化・スポーツ部 外
	○ 新たな品種開発・品質向上と供給体制の確立		P.177	農 政 部
	○ 輸入原料を使った肥料・飼料の使用量低減の推進と安定供給体制の構築の検討		P.178	農 政 部
	○ データ農業とスマート農業の実用化及び普及に向けた取り組み		P.179	農 政 部
	○ エシカル消費層に応える先駆的取り組みの推進		P.180	農 政 部
	○ 農畜水産業の収益力を強化するための流通対策		P.181	農 政 部
	○ 農畜水産業の収益力を強化するための販売対策		P.182	農 政 部 外
	○ 農畜水産業の収益力を強化するためのブランド化の推進		P.183	農 政 部
	○ 林業経営体の強化		P.184	森 林 環 境 部
	○ 県産材供給力の強化		P.185	森 林 環 境 部
	○ 県産材の需要の拡大		P.186	森 林 環 境 部
	○ 特産林産物の産地化の推進		P.186	森 林 環 境 部
	○ 森林空間の高度活用		P.187	森 林 環 境 部
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		32,620 百万円	
	前年度までの事業費		20,305 百万円	
	本年度の事業費		12,315 百万円	

成果指標の達成状況	(成果指標に関連する) 施策名		(成果指標担当部局名)		
	成 果 指 標	基 準 値 (基準年度)	目 標 値 (目標年度)	現 況 値 (現況年度)	進捗率(%)
	5-1-2 スタートアップ創出・誘致・定着の促進				(産業政策部)
	県支援により県内で新たに事業展開するスタートアップ数	5 社 (R 4)	45 社 (R5～8 累計)	41 社 (R5～7 累計)	91.1
	支援したスタートアップが受ける投資額	0 円 (R 4)	10 億円 (R5～8 累計)	52.41 億円 (R5～7 累計)	524.1
	5-1-3 「テストベッドの聖地やまなし」の展開と社会実装の支援				(新価値創造推進局)
	実証実験サポート事業により支援を行った企業数	21 社 (R3～4 累計)	70 社 (R3～8 累計)	52 社 (R3～7 累計)	63.3
	5-1-4 企業立地の促進				(産業政策部)
	企業立地件数	59 件 (R1～4 累計)	68 件 (R5～8 累計)	53 件 (R5～7 累計)	77.9
	5-1-5 ライフスタイル・プロダクトの推進				(産業政策部)
	地場産業に係る主要イベント(TGC、フジテキスタイルウィーク等)の参加者・来訪者の増加	—	120% (R1～4 イベント平均を100%とする) (R 8)	224.2% (R 7)	621.0
	5-1-6 世界の銘醸地 山梨の確立				(産業政策部)
	甲州ワインの輸出量	66.7 kl (R 3)	90 kl (R 7)	43.1 kl (R 7)	△ 101.3
	県産日本酒の輸出量	83 kl (R 3)	211 kl (R 7)	114.5 kl (R 7)	24.6
	5-1-9 「高付加価値型の観光産業」への進化の促進				(観光文化・スポーツ部)
	観光客 1 人当たり平均消費額	12,498 円 (R 1)	14,500 円 (R 8)	14,901 円 (R7 速報値)	120.0
	外国人観光客観光消費額	1.8 万円 (R 1)	2.25 万円 (R 8)	2.3 万円 (R 7)	111.1
	5-1-9 「高付加価値型の観光産業」への進化の促進				(農政部)
	県内農泊の宿泊者数	10,048 人 / 年 (R 4)	13,440 人 / 年 (R 8)	18,077 人 / 年 (R 7)	236.7

成果指標の達成状況	(成果指標に関連する) 施策名		(成果指標担当部局名)		
	成 果 指 標	基 準 値 (基準年度)	目 標 値 (目標年度)	現 況 値 (現況年度)	進捗率(%)
	5-1-10 新たな品種開発・品質向上と供給体制の確立				(農政部)
	もも「夢みずき」の生産量	526t (R 4)	1,500t (R 8)	946t (R 7)	43.1
	ぶどう「甲斐キング」の生産量	32t (R 4)	120t (R 8)	134t (R 7)	115.9
	ぶどう「サンシャインレッド」の生産量	0t (R 4)	100t (R 8)	80t (R 7)	80.0
	ピラミッドアジサイ生産農家戸数	7 戸 (R 4)	12 戸 (R 8)	11 戸 (R 7)	80.0
	甲州牛生産頭数	1,927 頭 (R1～4累計)	2,100 頭 (R5～8累計)	1,764 頭 (R5～7累計)	84.0
	グラスフェッドビーフ生産農家数	0 戸 (R 4)	8 戸 (R 8)	1 戸 (R 7)	12.5
	富士の介の生産量	62t (R 4)	80t (R 8)	62t (R 7)	0.0
	5-1-11 輸入原料を使った肥料・飼料の使用量低減の推進と安定供給体制の構築の検討				(農政部)
	化学肥料由来の窒素使用量	5.2 kg /10a (R 4)	5.0 kg /10a (R 8)	5.05 kg /10a (R 7)	75.0
	飼料用米の活用量	110t (R 4)	140t (R 8)	82t (R 7)	△ 93.3
	低魚粉飼料の導入業者数	3 業者 (R 4)	7 業者 (R 8)	8 業者 (R 7)	125.0

成果指標の達成状況	(成果指標に関連する) 施策名		(成果指標担当部局名)		
	成 果 指 標	基 準 値 (基準年度)	目 標 値 (目標年度)	現 況 値 (現況年度)	進捗率(%)
	5-1-12 データ農業とスマート農業の実用化及び普及に向けた取り組み				(農政部)
	データ農業による生産性向上技術の確立	シャインマスカット (施設栽培) 1.3t/10a きゅうり (施設栽培) 16t/10a (R 4)	シャインマスカット (施設栽培) 2.6t/10a きゅうり (施設栽培) 50t/10a (R 6)	シャインマスカット (施設栽培) 2.8t/10a きゅうり (施設栽培) 58t/10a (R 6)	シャインマスカット (施設栽培) 115.4 きゅうり (施設栽培) 123.5
	データ農業導入による秀品率の向上	もも(露地栽培) 40% すもも(露地栽培) 60% (R 4)	もも(露地栽培) 45% すもも(露地栽培) 65% (R 8)	もも(露地栽培) 44% すもも(露地栽培) 69% (R 7)	もも(露地栽培) 80.0 すもも(露地栽培) 180.0
	スマート農業技術の導入支援数	155 戸 (R2～4 累計)	200 戸 (R5～8 累計)	171 戸 (R5～7 累計)	85.5
	5-1-13 エシカル消費層に応える先駆的取り組みの推進				(農政部)
	4 パーミル・イニシアチブ取り組み面積	4,926 ha (R 4)	7,300 ha (R 8)	6,969 ha (R 7)	86.1
	アニマルウェルフェアに取り組む農家数	エフォート認証 9 戸 アチーブメント認証 7 戸 (R 4)	エフォート認証 50 戸 アチーブメント認証 25 戸 (R 8)	エフォート認証 23 戸 アチーブメント認証 15 戸 (R 7)	エフォート 認証: 34.1 アチーブメント 認証: 44.4
	5-1-14 農畜水産業の収益力を強化するための流通対策				(農政部)
	果樹の共同選果施設再編整備地区	1 地区 (R1～4 累計)	2 地区 (R5～8 累計)	2 地区 (R5～7 累計)	100.0
	5-1-15 農畜水産業の収益力を強化するための販売対策				(農政部)
	県産果実の輸出額	20.7 億円 (R 4)	35 億円 (R 8)	19.5 億円 (R 7)	△ 8.4
	5-1-15 農畜水産業の収益力を強化するための販売対策 5-1-16 農畜水産業の収益力を強化するためのブランド化の推進				(農政部) (農政部)
	県産農畜水産ブランド関連サイト・動画のアクセス・再生数	100,946 件 (R3～4 累計)	800,000 件 (R5～8 累計)	835,515 件 (R5～7 累計)	104.4

成果指標の達成状況	(成果指標に関連する) 施策名			(成果指標担当部局名)	
	成 果 指 標	基 準 値 (基準年度)	目 標 値 (目標年度)	現 況 値 (現況年度)	進捗率(%)
	5-1-17 林業経営体の強化			(森林環境部)	
	主伐の労働生産性	6.75 m ³ / 人日 (R 3)	8.16 m ³ / 人日 (R 8)	6.74 m ³ / 人日 (R 7)	△ 0.7
	5-1-18 県産材供給力の強化			(森林環境部)	
	木材生産量	236 千 m ³ / 年 (R 4)	292 千 m ³ / 年 (R 8)	184 千 m ³ / 年 (R 7)	△ 92.9
	林内路網の整備延長	4,783 km (R4 累計)	4,958 km (R8 累計)	4,894 km (R7 累計)	63.4
	5-1-19 県産材の需要の拡大			(森林環境部)	
	木材製品の出荷量	48 千 m ³ / 年 (R 4)	77 千 m ³ / 年 (R 8)	37 千 m ³ / 年 (R 7)	△ 37.9
	5-1-20 特用林産物の産地化の推進			(森林環境部)	
	きのこ類の生産量	382t/ 年 (R 4)	408t/ 年 (R 8)	292t/ 年 (R 7)	△ 346.2
	5-1-21 森林空間の高度活用			(森林環境部)	
	森林公園、清里の森の利用者数	475 千人 / 年 (R 4)	550 千人 / 年 (R 8)	525 千人 / 年 (R 7)	66.7

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
水素エネルギー社会実現に向けた実証研究、次世代エネルギーシステムの構築 【企：新エネルギーシステム推進課】 ①②③	(電気事業会計) (10,152,517) 4,660,749 [4,977,860] ①②③	P2G システムを国内外へ展開するため、核となるやまなしハイドロジェンカンパニーとともに、幅広い分野の工場等へ導入を可能とする技術開発（モジュールによる大容量化や小型パッケージ化など）を進め、実証プロジェクトを推進した。 また、次世代エネルギーシステム研究開発ビレッジ「Nesrad」において、多様な企業との共同研究を進めた。 これにより、P2G システムの普及拡大及びグリーントランスフォーメーションの推進に寄与した。 ①大容量化 P2G システムの導入 民間企業 2 箇所 令和 4 年度～ ②小型パッケージ化 P2G システムの導入 自治体 1 箇所・民間企業 2 箇所 令和 4 年度～ ③ Nesrad への民間企業等の入居 9 社・1 団体 令和 5 年度～
スタートアップ創出・誘致・定着の促進 【スタートアップ・経営支援課】 ①②③④⑤⑥⑦⑧ 【成長産業推進課】 【産業振興課】 ⑨	商 工 総 務 費 (1,059,949) 1,000,413 ①②③④⑤⑥ ⑦⑧ 金 融 対 策 費 (500,000) 319,901 ⑨	成長性の高いスタートアップの集積による新事業創出並びにスタートアップと県内企業との共創による新事業展開を図るため、スタートアップ支援センターを整備・運営するとともに、実証実験サポート事業と連携しつつ起業・創業に向けた機運醸成から成長支援まで切れ目のない施策を実施した。 これにより、更なるスタートアップの県内集積及び投資額の増加に寄与した。 ①スタートアップ支援センターの整備・運営 ②中高生向けビジネスアイデアコンテストの実施 参加 10 校 39 人 ③ビジネスコンテストの実施 参加 6 件 ④オープンイノベーションプログラムの実施 4 件 ⑤アクセラレーションプログラムの実施 6 件 ⑥研究シーズ等の事業化支援プログラムの実施 3 件 ⑦地域課題解決型起業支援金の支給 15 件 ⑧資金調達サポート事業による出資 4 社 ⑨商工業振興資金起業家支援融資の利用 253 件 (うち商業 228 件再掲)

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
「テストベッドの 聖地やまなし」の 展開と社会実装の 支援 【新事業チャレンジ推進課】 ①	企画総務費 (65,305) 41,445 ①	リニア開業を見据え「選ばれる山梨」を実現するため、スタートアップ企業等の最先端技術を活用した実証実験や社会実装を支援した。 これにより、社会課題を解決する新たな技術やサービスの実装や「テストベッドの聖地やまなし」のブランド定着に寄与した。 ①実証実験サポート事業等により支援を行った企業 9社
企業立地の促進 【成長産業推進課】 ①②③ 【産業振興課】 ①③	企業立地対策費 (1,070,066) 900,169 [50,478] ①③	良質な雇用の確保や県内経済の活性化を図るため、工業団地の整備を行う市町村等を支援するとともに、地域未来投資促進法に基づく基本計画（ものづくり、物流等）の運用や各種支援制度並びに法令等に基づく税制優遇等により、付加価値の高い産業の集積や事業の拡大を促進した。 また、生産拠点の国内回帰や東京一極集中からの地方回復の流れを受け、大規模投資や本社機能の分散等の新たな動きに対応した支援制度により企業立地を促進した。 これにより、県内への製造業等の企業立地が進み、雇用の確保や県内経済の活性化が図られた。 ①市町村等の工業団地整備への支援 3件 ②地域未来投資促進法（ものづくり、物流等）に基づく事業者の立地計画承認 1件 ③産業集積促進助成金による立地企業に対する支援 11件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
ライフスタイル・ プロダクトの推進 【産業振興課】 ①②③④⑤⑥⑦⑧	商 工 総 務 費 (40,105) 37,638 ①②③④⑤ 商 工 振 興 費 (3,503) 3,165 ⑥⑦ 宝石美術専門学校費 (24,730) 22,529 ⑧	地場産業の国内外におけるブランド価値を向上させ、併せて生活の様々な場面における利用を広げるため、テキスタイル（織物）・ジュエリー・印伝・印章等の認知度向上や付加価値を高める取り組みの推進、販路拡大や新製品開発の促進を図るとともに、伝統工芸品の需要開拓や後継者育成を支援した。 これにより、ライフスタイル・プロダクトの推進に寄与した。 ①県絹人織織物工業組合等が行う海外展示会や観光客向け情報発信、デジタルツールを活用したものづくり人材育成の取組等への助成 ②山梨の夏服「かいくーる」のプロモーション事業の実施 ③県ジュエリー協会が行う「山梨ジュエリーフェア」における産地ブランドプロモーションへの助成 ④ジュエリーマスター資格認定試験の実施 認定者 17 人 ⑤県内宝飾産業における職人向け高度人材養成講座の実施 受講者 32 人 ⑥郷土伝統工芸品共同展示会の開催 令和7年11月 ⑦産地組合等が行う後継者育成・需要開拓等への助成 2 件 ⑧ジュエリーミュージアム企画展・常設展の開催 入館者 33,901 人

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
世界の銘醸地 山梨の確立 【産業振興課】 ①②③④	商 工 総 務 費 (43,588) 39,578 ①②③ 商 工 振 興 費 (505) 416 ④	世界の銘醸地 山梨としての認知を定着させて、県産ワインと日本酒の海外への輸出量を増やすため、国内外のバイヤー等を対象に行う産地のイメージアップや販路拡大を支援した。 これにより、世界の銘醸地山梨の確立に寄与した。 ①県ワイン酒造協同組合等が行う海外プロモーションへの助成（ロンドン、シンガポール、海外ワイン専門誌への記事掲載） ②県酒造協同組合等が行う GI 山梨・日本酒ブランドリニューアルや海外展開人材育成研修会、首都圏試飲商談会への助成 ③マスター・オブ・ワイン協会主催のスタディツアーを招致 令和8年3月 ④有機ワイン醸造の先進ワイナリーの視察 令和7年9月

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
地域ブランドプロ モーションの推進 【地域ブランドグループ】 ①②③④⑤⑥⑦	企 画 総 務 費 (237,645) 233,037 ①②③④⑤⑥ ⑦	“上質”、“先進的”という本県のブランドイメージの確立に向けて、次世代社会を構成する5つのハイクオリティな価値¹及び4つのプロモーションテーマ²を設定し、「ハイクオリティやまなし」のキャッチフレーズのもと、県独自の情報発信メディア（オウンドメディア）をはじめ、多様な手段を活用した未来志向の一体的・戦略的なプロモーションに全庁を挙げて取り組んだ。 これにより、コーポレートブランド「やまなし」³の価値向上に寄与した。 ①「やまなし地域プロモーション戦略」及び同戦略の実施方針に基づく庁内施策のマネジメント支援 令和7年6月～令和8年3月 ②オウンドメディア「ハイクオリティやまなし」の記事制作・発信 20件 ③ブランド価値調査の実施 令和8年3月 ④SNS動画を活用した山梨県の魅力発信 動画投稿数 30本 ⑤県産果実を活用したスイーツのブランド価値向上に向けたプロモーション 令和7年6月～令和8年3月 ⑥道の駅を核とした南山梨・東部地域の高付加価値化に向けた情報発信等の実施 令和7年6月～令和8年3月 ⑦「大阪・関西万博」自治体参加催事への出展 令和7年8月 1 「あらゆる人・企業が挑戦、成長、活躍」、「経済的・心理的な豊かさ実感」、「自然との共生、豊かな社会基盤」、「五感を刺激する心躍る体験」、「サステナブルな社会」 2 「イノベーション（先進・次世代）」、「美酒・美食体験」、「自然環境」、「芸術・文化・伝統」 3 山梨全体を対象とした「地域そのものを示すブランド」

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
「デザイン先進県」 の構築 【地域ブランドグループ】 ② 【スタートアップ・経営支援課】 ③ 【文化振興・文化財課】 ①④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ 【高度政策企画イニシアチブ】 ①	企画総務費 (385) 385 ② 工業試験費 (1,241) 982 ③ 芸術文化振興費 (26,492) 25,527 ④⑤⑥⑦⑧⑨ ⑩	県職員及び県内企業人材、児童・生徒・学生のデザインリテラシーを育成するとともに、デザイン思考を活用した政策形成などにより、社会課題の解決やイノベーションの創出を図るべく、包括連携協定を締結している多摩美術大学との連携を推進した。 また、地場産品の高付加価値化に寄与するべく、洗練されたデザインを生み出す拠点として、美術館に附属するデザインセンターを運営した。 これにより、イノベーション溢れる豊かな地域社会の形成に寄与した。 ①政策デザインの導入 18 事業 ②多摩美術大学社会人向け講座へ職員を派遣 1 人 ③産業技術センターデザイン技術部におけるデザインに係る相談 268 件 ④美術館附属デザインセンターの運営 ⑤多摩美術大学との連携による小中学生向けワークショップの開催 3 回 ⑥デザインリテラシー向上のためのセミナーやワークショップ等の開催 4 回 ⑦デザイン講演会の開催 令和 8 年 1 月 ⑧デザイナー&クリエイターズネットワークの開催 7 回 ⑨地域デザインを語り合うカンファレンスの開催 3 回 ⑩山梨デザインセレクションの開催 令和 7 年 8 月～令和 8 年 1 月

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
「高付加価値型の観光産業」への進化の促進 【観光政策グループ】 ⑩ 【観光振興グループ】 ①⑨ 【観光地経営支援グループ】 ④⑤⑥⑪⑫⑬⑭ 【南アルプス観光振興グループ】 ⑦⑧ 【文化振興・文化財課】 ② 【農村振興課】 ③ 【高速道路推進課】	文化財保護費 (50,135) 41,045 [7,952] ② 農 業 総 務 費 (6,777) 6,727 ③ 観 光 総 務 費 (8,108) 7,266 ④⑤⑥⑦⑧⑭ 観 光 施 設 費 (64,243) 40,934 [10,000] ⑨ 観 光 宣 伝 費 (29,649) 29,438 ⑪⑫⑬	観光客に上質な価値を提供して高い収益を上げる「高付加価値型の観光産業」への進化を促進するため、これに対応する事業者や市町村等の取り組みを積極的に支援するとともに、豊かな自然や歴史・文化芸術といった資源の磨き上げと観光活用を推進した。 インバウンド観光客の観光消費額増加を図るため、レンタカーによる広域周遊を促進するとともに、デザイナー等と連携し、本県ならではの付加価値の高い土産品の開発を行った。 また、多様な食文化への理解促進と対応力向上を図る取り組みを行った。 企業の福利厚生の一環として、社員の心身のリフレッシュなどに活用できる企業向け農泊体験プログラムの作成と事業者間の連携によるモデルツアーの実施を支援した。 業務効率化と生産性向上を図るため宿泊事業者等に対し DX 導入事例を紹介した。 年齢や障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して旅行できる環境づくりのため、ユニバーサルツーリズムの促進に向けた取り組みを行った。 これにより、「高付加価値型の観光産業」への進化が促進された。 ①アクティビティ・ベースの利用者（再掲）24,582 人 ②地域における計画的な文化財の保存と活用の取り組みを支援（再掲） 市町村の文化財保存活用地域計画策定を支援 文化財保存活用地域計画策定市町村 国認定 4 市、策定中 3 市 文化財新任職員等研修会の開催 1 回 市町村埋蔵文化財専門職員等研修の実施 16 回 指定文化財を保存するための修繕等に対する助成 95 件 ③県内農泊の宿泊者 18,077 人 農泊連携プログラムの作成及びモデルツアーの実施 2 地域 ④峡南地域の事業者等に向けたワークショップの開催（再掲） 3 回 ⑤峡南地域の地域資源を核とした観光商品改良の支援（再掲） 10 事業者 ⑥峡南地域における 1 人当たり観光消費額等を把握するための観光市場分析の実施（再掲） 令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
		⑦南アルプス観光推進協議会の開催（再掲） 2回 ⑧広河原の無料 Wi-Fi の運用（再掲） 令和7年6月～11月 ⑨富士の国やまなし観光振興施設整備補助金（再掲） 補助対象 6市町村 7事業 ⑩宿泊施設に対する DX 導入効果の紹介 1回 ⑪周遊ドライブマップの作成（タイ語）・増刷（英語・繁体字） 各 10,000 部 ⑫デザイナー等との連携による高付加価値な土産品の開発 3品目 9製品 ⑬食の多様性に対応するための本県独自の認証制度の運用 47事業者 52施設（令和8年3月末現在） ⑭ユニバーサルツーリズムの促進 啓発セミナーの開催 2回 推進検討会議の開催 2回 モニターツアーの開催 1回
新たな品種開発・品質向上と供給体制の確立 【果樹園芸振興課】 ②③ 【農業技術課】 ① 【畜産課】 ④⑤ 【食糧水産課】 ⑥	果樹試験場費 (26,140) 23,643 ① 果樹園芸等振興費 (45,942) 37,927 ②③ 水産業振興費 (93,276) 72,076 [12,000] ⑥	果樹オリジナル品種の開発と苗木の安定供給による早期産地化を進めるとともに、高品質・安定生産に向けた技術開発・普及を図った。 また、消費者の赤身肉嗜好に対応したグラスフェッドビーフや、県ブランド魚「富士の介」の生産振興に取り組んだ。 これにより、魅力ある農畜水産物の供給体制の確立に寄与した。 ①県オリジナル品種の開発のための研究課題（再掲） 4品目 11課題 ②果樹苗木供給体制の強化（再掲） 苗木供給本数 サンシャインレッド 4,890本 甲州 2,017本 ソワノワール 1,354本 夢桃香 3,958本 アルプス紅扇 330本 ③ピラミッドアジサイ生産農家 11戸 ④甲州牛等ブランド食肉の生産拡大 甲州牛の生産頭数 618頭 ⑤グラスフェッドビーフ生産農家 1戸 ⑥富士の介の生産量 62t

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
輸入原料を使った肥料・飼料の使用量低減の推進と安定供給体制の構築の検討 【農業技術課】 ①② 【畜産課】 ③④⑥ 【食糧水産課】 ③⑤	農業改良普及費 (941) 868 ①② 畜産振興費 (366,500) 148,569 [161,500] ③⑥ 水産業振興費 (711) 533 ⑤	輸入原料を使った肥料の使用量を低減するため、有機質肥料を中心にした施肥技術の実証ほ場を設置し、農家への普及を図るとともに、地域未利用資源である下水汚泥肥料の利用に向けて、成分分析や施用効果などの検討を行った。 飼料の価格高騰に対し、畜産分野において輸入原料を使った飼料の使用量を低減するため、機械導入により飼料生産効率の向上を図るとともに、飼料用米活用の推進などに取り組んだ。 また、水産分野においては、マス類での魚粉代替原料を用いた低魚粉飼料について理解を深めてもらうため養殖業者に適切な情報共有を図るとともに、普及に取り組んだ。 さらに、IoT 技術を活用した飼料生産効率の向上などにより、生産コストの削減を積極的に支援した。 これにより、下水汚泥や飼料用米活用の推進などによる農家経営の改善に寄与した。 ①化学肥料低減技術の実証ほ場の設置（再掲） 4 箇所 ②下水汚泥の肥料利用の検討（再掲） 県内生産汚泥肥料の含有成分調査 3 銘柄 現地実証（市川三郷町、上野原市） 2 箇所 ③自給飼料の生産拡大と飼料用米の活用拡大（再掲） 飼料用米の活用量 82t ④グラスフェッドビーフ生産農家（再掲） 1 戸 ⑤飼料の低コスト化技術の普及（水産） 低魚粉飼料の導入業者 8 業者 ⑥ IoT 技術を活用した飼料生産の効率化への支援（再掲） 畜産経営基盤パワーアップ事業による機械導入、機械設備の長寿命化及び施設の高度化への支援 93 件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
データ農業とスマート農業の実用化及び普及に向けた取り組み 【農業技術課】 ①② 【農村振興課】 ② 【耕地課】 ③	総合農業技術センター費 (4,316) 4,088 ① 果樹試験場費 (2,820) 2,642 ① 農業改良普及費 (8,940) 8,704 ①② 農業総務費 (20,362) 20,362 ② 土地改良費 (1,279,893) 722,276 [556,460] ③	生産者の所得向上を図るため、シャインマスカット、きゅうり、もも及びすももを選定し、生産性の飛躍的な向上を図るデータ農業の技術開発を進めた。 また、省力化技術等を活用した先進技術を普及するため、スマート農業技術の確立に向けて先端技術の導入・実証への支援を行った。 さらに、スマート農業の導入を促進するため、区画の拡大や傾斜の緩和など生産基盤を整備した。 これにより、スマート農業とデータ農業の実用化及び普及に寄与した。 ①データ農業の技術確立 (ハウス栽培) 多収・高品質生産技術の開発 3 品目 (露地栽培) 篤農家技術の見える化 3 品目 ②スマート農業導入への支援と技術の普及 自動操舵システム、気象観測装置などの導入支援 5 件 自動新梢管理装置、農業ドローンの実証支援 3 件 ③スマート農業の導入を促進するための基盤整備 梅沢・日向山地区 外 26 地区

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
エシカル消費層に 応える先駆的取り 組みの推進 【販売・輸出支援課】 ③ 【農 業 技 術 課】 ① 【畜 産 課】 ②	農業改良普及費 (658) 462 ① 総合農業技術センター費 (1,519) 1,501 ①	4パーミル・イニシアチブやアニマルウェルフェア などの先駆的取り組みを拡大するとともに、この取り 組みにより生産された商品について、「エシカル・プ レミアム」として差別化するプロモーション活動を展 開した。 これにより、生産された商品の差別化や高付加価値 化に寄与した。 ① 4パーミル・イニシアチブの取り組み 認証個人・団体 176 人・団体 取り組み面積 6,969 ha 全国協議会、中央日本4県サミットの開催 2回 全国協議会参画団体 68 団体 ② アニマルウェルフェアに取り組む認証農家 エフォート認証 23 戸 アプローチメント認証 15 戸 ③ エシカル消費者層に向けたプロモーション活動 都市部の小売店等でのプロモーション 15 店舗 WEB 雑誌への記事掲載 2 回 実需者・メディア向けツアーの実施 2回 参加者 37 人 「やまなしジビエフェア 2025」の開催 令和7年11月～令和8年2月 参加飲食店等 16 店 県内外イベントでのジビエ PR 3 回 企業と連携したジビエ PR 2 回 学校給食へのジビエ活用 39 校

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
農畜水産業の収益力を強化するための流通対策 【果樹園芸振興課】 ①② 【販売・輸出支援課】 ①③ 【畜 産 課】 ③	果樹園芸等振興費 (70,400) 66,073 ②	果樹の共同選果施設の再編整備を進めるとともに、品質管理を徹底した輸送体制の構築に向けた検討を実施した。 食肉については、山梨県農畜水産物の輸出拡大に向けた基本的な戦略に基づき、流通体制の整備を進めた。これにより、生産・流通・販売の一連のプロセスが三位一体で高度化し、農畜水産業の収益力の強化に寄与した。 ①品質管理を徹底した輸送体制の構築支援 出荷規格の統一に向けた検討 4 回 ぶどう房選果実証運用コンソーシアムの開催 2 回 ②果樹の共同選果施設整備への支援（再掲） 累計 2 地区 ③食肉の輸出拡大に向けた流通体制づくり 牛肉関係団体の輸出拡大に向けた取り組みを支援 令和 7 年 7 月～令和 8 年 3 月

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
農畜水産業の収益力を強化するための販売対策	農 業 総 務 費 (4,934) 4,391	生産・流通・販売の一連のプロセスを三位一体で高度化し、デジタルとリアルを組み合わせた効果的なプロモーションを、対象品目を拡大し国内外で展開するとともに、ぶどう、ももなどの検疫条件が未設定の中国、ベトナム等への輸出解禁に向け、国等へ引き続き要望活動を実施した。
【果樹園芸振興課】	①②	また、首都圏において本県の食の魅力を発信するため、「Cave de ワイン県やまなし」で県産食材を使用した料理や県産酒の提供・物販を行った。
①	果樹園芸等振興費 (31,284) 30,733	これにより、県産農畜水産物の認知度向上が図られ農畜水産業の収益力の強化に寄与した。
【販売・輸出支援課】	①②③④⑤	①品質管理を徹底した輸送体制の構築支援（再掲）
①②③④⑤	①②③④	出荷規格の統一に向けた検討 4 回
【畜 産 課】	①②③④	ぶどう房選果実証運用コンソーシアムの開催 2 回
④	①②③④	②国内・海外でのデジタルとリアルを組み合わせたプロモーション（再掲）
【食糧水産課】	商 工 振 興 費 (45,934) 44,833	＜国内＞
【観光振興グループ】	⑥	都市部の小売店等でのプロモーション 15 店舗
⑥	⑥	特設ホームページのコンテンツ充実 4 本
		WEB 雑誌への記事掲載 2 回
		実需者・メディア向けツアーの実施 2 回 参加者 37 人
		国際見本市への出展 令和 8 年 3 月
		＜海外＞
		輸出先国・地域への SNS 等による情報発信
		香港、台湾、シンガポール 外 6 カ国・地域
		現地小売店等でのプロモーション
		香港、台湾、シンガポール 外 3 カ国・地域
		延べ 16 回
		③輸出品目拡大に向けたマーケティング調査と中長期的な戦略の策定と取り組みの推進
		海外実需者との意見交換 1 回
		インバウンド需要と県産食材の活用状況調査 10 施設
		富士の介のタイへの輸出実証 1 回
		富士の介のアメリカ・シンガポールへの輸出検討 1 回
		④食肉の輸出拡大に向けた流通体制づくり（再掲）
		牛肉関係団体の輸出拡大に向けた取り組みを支援 令和 7 年 7 月～令和 8 年 3 月
		⑤検疫条件の早期設定に向けた国等への要望活動
		国等への要望（中国、ベトナム等） 令和 7 年 7 月～9 月
		ベトナム駐日大使への要望 令和 7 年 4 月
		⑥「Cave de ワイン県やまなし」の運営 通年

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
農畜水産業の収益力を強化するためのブランド化の推進 【販売・輸出支援課】 ①②③ 【果樹園芸振興課】 ④ 【畜 産 課】 【食糧水産課】	農 業 総 務 費 (35,608) 31,213 ②③	果実に加え、野菜や米、茶、牛肉などの戦略品目の早期ブランド化と、やまなしブランドの牽引役となるスーパープレミアムブランドの育成などに取り組むとともに、「匠の技」や「生産者のこだわり」などのストーリーを県独自のオウンドメディア等により消費者に訴求しブランド価値の向上を図った。 これにより、品質の高さに加え、県産農畜水産物等の魅力について認知度向上が図られ、やまなしブランドの消費者への浸透と強化に寄与した。 ①輸出品目拡大に向けたマーケティング調査と中長期的な戦略の策定と取り組みの推進（再掲） 海外実需者との意見交換 1 回 インバウンド需要と県産食材の活用状況調査 10 施設 富士の介のタイへの輸出実証 1 回 富士の介のアメリカ・シンガポールへの輸出検討 1 回 ②国内・海外でのデジタルとリアルを組み合わせたプロモーション（再掲） <国内> 都市部の小売店等でのプロモーション 15 店舗 特設ホームページのコンテンツ充実 4 本 WEB 雑誌への記事掲載 2 回 実需者・メディア向けツアーの実施 2 回 参加者 37 人 国際見本市への出展 令和 8 年 3 月 <海外> 輸出先国・地域への SNS 等による情報発信 香港、台湾、シンガポール 外 6 カ国・地域 現地小売店等でのプロモーション 香港、台湾、シンガポール 外 3 カ国・地域 延べ 16 回 ③プレミアムブランドの育成支援 プレミアム商品の情報発信 4 回 ④果樹苗木供給体制の強化（再掲） 苗木供給本数 サンシャインレッド 4,890 本 夢桃香 3,958 本 アルプス紅扇 330 本

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
林業経営体の強化 【林 業 振 興 課】 ①②③ 【森 林 整 備 課】 ③	林業振興指導費 (163,932) 116,415 ①②③	伐採や造林、保育など、多岐にわたる森林施業全般に対応できる林業経営体の育成や ICT 等の先端技術の導入促進を図ることにより、経営基盤を強化し、収益力や生産性の向上を図った。 これにより、森林組合等の経営基盤の強化に寄与した。 ①林業経営体育成に向けた経営セミナーの開催 1 回 ②これまでの森林組合の経営分析を踏まえ、各組合の抱える経営課題の改善に向けた取り組みを支援 11 組合 ③スマート林業の推進 森林クラウドシステムの整備 1 式 自走式破碎機に係る研修会の開催 1 回 ドローン搭載型レーザ計測機器の導入支援 1 式

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
県産材供給力の強化 【森林整備課】 ①④ 【林業振興課】 ②⑤ 【県有林課】 ①④ 【治山林道課】 ③	林業振興指導費 (288,629) 51,186 [231,962] ②⑤ 造 林 費 (1,014,559) 664,579 [344,034] ①④ 林 道 費 (475,715) 319,867 [155,575] ③ 造 林 費 (恩賜県有財産特別会計) (1,063,545) 730,340 [346,100] ①④ 林 道 費 (恩賜県有財産特別会計) (2,233,786) 1,560,129 [673,657] ③ 計 画 調 査 費 (恩賜県有財産特別会計) (12,667) 12,667 ④	伐採と植栽を一貫して行う作業システムや高性能林業機械の導入支援、森林資源が充実している地域への重点的な路網の整備、製材・加工流通施設の充実、県産材を活用した住宅建築への支援による需要拡大を図った。 これにより、県産材供給力の強化に寄与した。 ①森林整備の実施 6,410 ha ②県産材を活用した住宅及び仮設用住宅用の木材製品 備蓄倉庫整備への助成 6 件 ③林道の整備 延長 4.3 km ④森林作業道の整備 延長 32.3 km ⑤高性能林業機械の導入に対する助成 1 件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
県産材の需要の拡大 【林業振興課】 ①②④⑤ 【県有林課】 ③	林業振興指導費 (4,249) 3,218 ②④⑤ 計画調査費 (恩賜県有財産特別会計) (3,433) 3,180 ③	充実する森林資源の有効活用を図るため、住宅や中大規模建築物における県産材利用の拡大につながる取り組みを推進した。 また、国内最大認証面積を誇る県産 FSC* 認証材の PR 活動や安定的な供給体制の構築に取り組むことで、県有林材のブランド化を推進した。 さらに、県産材のブランド力を生かし、県産材を活用した新たな製品開発や販路拡大に取り組んだ。 これにより、県産材の需要の拡大に寄与した。 ①公共建築物の木造・木質化 14 件 ② Yamanashi ウッド・チェンジ・ネットワークによるワークショップの開催 3 回 ③県産 FSC 認証材の展示会等での PR 4 回 ④県産材製品の開発 3 件 ⑤県産材を活用した住宅及び仮設住宅用木材製品備蓄倉庫整備への助成 6 件
特用林産物の産地化の推進 【林業振興課】 ①②③	林業振興指導費 (467) 442 ①③	特用林産物の産地化及び付加価値向上を図るため、特用林産物の販路拡大とともに、生産者の新規参入及び育成などの取り組みを推進した。 これにより、特用林産物の産地化の推進に寄与した。 ①きのこ類の生産量 292t ②特用林産物生産者への栽培指導 104 回 ③イベントでの特用林産物の PR 活動 1 回

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
森林空間の高度活用 【県 有 林 課】 ①②③ 【森林環境政策課】 ④	緑のふるさと推進事業費 (215,023) 203,097 [3,387] ①②③④ 保 護 管 理 費 (恩賜県有財産特別会計) (23,313) 17,089 ①	森林空間を活用したより付加価値の高いサービスを提供するため、森林公園等での活動プログラムの実施、マウンテンバイク利用環境の整備や計画的な施設改修等による魅力向上、新たなニーズに対応した森林空間活用への支援などを行った。 これにより、地域関係者と連携した森林空間の高度活用の推進に寄与した。 ①森林公園等の利用者 525 千人 ②マウンテンバイクエリアの利用者 972 人 ③国際交流「世界の森やまなし」において記念植樹の実施 3 件 ④やまなしで過ごす「山の日」関連イベントの開催 79 件

「山梨県総合計画」 政策別実施状況

戦略	5	先進地「やまなし」を叶える道
----	---	----------------

政策	2	文化芸術の振興	計画掲載施策数	11
【政策の基本的な考え方】 文化芸術は、豊かな人間性や想像力を育み、新たな価値の創造を促すとともに、生涯を通じて、文化芸術にふれあい親しむ機会があることで人生が豊かになり、地域の活性化にもつながります。 このため、県民参画による文化芸術活動の促進を図るとともに、生活に根差した文化芸術活動や新たな創作活動が活発に行われ、日常的に文化や芸術を楽しめる環境を整備します。 さらに、生活に根ざした文化芸術とクリエイターが創り出す文化芸術のシナジー効果により多様な価値を生み出し、本県を文化芸術の創造拠点として進化させる取り組みを行います。 また、県立美術館が、将来を担う子どもたちの創造性を育む場としての機能をより一層発揮し、子育て世代がラーニングプログラムや人との交流、文化との触れ合いなど、様々な目的で日常的に訪れ、交流する場としての役割を果たすとともに、県立美術館に蓄積された情報や知見の活用等により、文化的な価値だけでなく、社会的・経済的価値を生み出し、地域活力の向上を図ります。				
令和7年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担 当 部 局
	○ 県民参画による文化芸術活動の促進		P.191	観光文化・スポーツ部 外
	○ クリエイターの拠点整備と活動支援		P.192	観光文化・スポーツ部
	○ 無形民俗文化財の継承と振興		P.193	観光文化・スポーツ部 外
	○ 史跡等文化財の適切な継承と保存による地域活性化		P.193	観光文化・スポーツ部 外
	○ 価値の創造拠点としての県立美術館の確立		P.194	観光文化・スポーツ部
	○ 美酒美食プロジェクトの取り組み		P.195	観光文化・スポーツ部 外
	○ 山梨の食のブランド力強化		P.196	観光文化・スポーツ部 外
	○ 飲食店等の集積とレベルアップの促進		P.197	観光文化・スポーツ部
	○ 山梨の美酒美食の国際的な展開		P.197	観光文化・スポーツ部 外
	○ 地域特性を生かした文化創造への取り組み		P.197	観光文化・スポーツ部 外
	○ 文化芸術の総合的な振興		P.198	観光文化・スポーツ部
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		3,035 百万円	
	前年度までの事業費		2,336 百万円	
	本年度の事業費		699 百万円	

成果指標の達成状況	(成果指標に関連する) 施策名		(成果指標担当部局名)		
	成 果 指 標	基 準 値 (基準年度)	目 標 値 (目標年度)	現 況 値 (現況年度)	進捗率(%)
	5-2-1 県民参画による文化芸術活動の促進		(観光文化・スポーツ部)		
	県民文化祭部門別フェスティバルへの出演・出品者数	3,072 人 (R 4)	6,890 人 (R 8)	3,326 人 (R 7)	6.7
	5-2-2 クリエイターの拠点整備と活動支援		(観光文化・スポーツ部)		
	5-2-10 地域特性を生かした文化創造への取り組み		(観光文化・スポーツ部)		
	やまなしメディア芸術アワード応募数	279 件 (R 4)	300 件 (R 8)	294 件 (R 7)	71.4
	ヤマナシ クリエイターズリンク相談等件数	108 件 (R 4)	240 件 (R 8)	188 件 (R 7)	60.6
	5-2-4 史跡等文化財の適切な継承と保存による地域活性化		(観光文化・スポーツ部)		
	文化財保存活用地域計画策定市町村数	4 市 (R 4)	8 市町村 (R 8)	4 市 (R 7)	0.0
	5-2-6 美酒美食プロジェクトの取り組み		(観光文化・スポーツ部)		
	5-2-7 山梨の食のブランド力強化		(観光文化・スポーツ部)		
	食を目的とした旅行者の飲食単価	6,230 円 (R 1)	9,480 円 (52%増) (R 8)	7,910 円 (R 6)	51.7
	5-2-7 山梨の食のブランド力強化		(農政部)		
	ニホンジカの処理頭数	2,887 頭 (R1～4 累計)	5,484 頭 (R5～8 累計)	3,833 頭 (R5～7 累計)	69.9
	5-2-8 飲食店等の集積とレベルアップの促進		(観光文化・スポーツ部)		
	美食産業集積補助金を活用し、県外から転入する料理店	—	5 店舗 (R 8)	0 店舗 (R 7)	0.0
	「若手料理人セミナー」の修了者数	—	20 人 (R 8)	18 人 (R 7)	90.0
	5-2-9 山梨の美酒美食の国際的な展開		(観光文化・スポーツ部)		
	外国人観光客 1 人当たり平均飲食消費額	3,000 円 (R 1)	6,000 円 (R 8)	4,879 円 (R 7)	62.6
	5-2-11 文化芸術の総合的な振興		(観光文化・スポーツ部)		
	県立 4 館の利用者数	491,466 人 (R 4)	589,734 人 (R 8)	677,505 人 (R 7)	189.3

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
県民参画による文化芸術活動の促進 【文化振興・文化財課】 ①②③ 【障害福祉課】 ④⑤⑥⑦⑧⑨	芸術文化振興費 (22,500) 21,812 ①②③ 県民文化振興費 (214,540) 210,403 ③ 社会福祉総務費 (22,079) 22,036 ④⑤⑥⑦⑧⑨	文化芸術の振興による豊かで活力ある地域社会を実現するため、県民総参加による「やまなし県民文化祭」の開催を支援し、県民に文化芸術活動の鑑賞や発表の機会を提供するとともに、活動への参加と交流を促進した。 また、障害のある方が心豊かに生きがいをもって生活できるようにするとともに、共生社会の実現につなげられるよう、文化芸術活動を通じた障害のある方の自己実現・自己表現を支援した。 これにより、県民参画による文化芸術活動の促進に寄与した。 ①やまなし県民文化祭の開催 令和7年6月～令和8年2月 29回 部門別フェスティバルへの出演・出品者 3,326人 ②山梨県芸術文化協会への補助金の交付 ③指定管理者による県民文化ホールの運営・管理 通年 ④障害者文化展の開催 地域展（国中） 令和7年10月 地域展（富士・東部） 令和7年9月 総合展 令和7年11月 出展作品合計 1,226作品 ⑤障害者芸術・文化祭の開催 令和7年11月 参加団体 63団体 ⑥企画展の開催（甲府市の街とアートを巡る「雑踏」展） 令和7年10月 甲府市中心市街地の6会場 ⑦障害者文化芸術活動支援コーディネーターによる相談支援 78件 ⑧ふれあい創作活動の実施 指導者派遣受講者 888人 ⑨ファッションショーを中心とした障害者と健常者の交流イベント（やまなしユニバーサルフェス）の開催 令和7年8月

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
クリエイターの拠点整備と活動支援 【文化振興・文化財課】 ①②③④⑤⑥⑦	芸術文化振興費 (20,045) 18,824 ①④⑤ 美 術 館 費 (71,310) 67,824 ⑥⑦ 考古博物館費 (13,739) 13,611 ⑥⑦ 文 学 館 費 (19,400) 16,703 ⑥⑦ 博 物 館 費 (60,306) 59,737 ⑥⑦	国内外のクリエイターが集い、その交流によるシナジー効果の発揮により新たな文化芸術的価値が生み出される好循環を創出するため、クリエイター等のプラットフォームとなるヤマナシ クリエイターズリンクを運営し、創作活動に対する多様な支援やキャリアサポートを行った。 また、美術館などの文化施設では、特色を生かした企画展を開催するなど、県民が文化芸術に触れる機会を提供した。 これにより、文化芸術の創造拠点としての発展と心豊かな社会の形成に寄与した。 ①ヤマナシ クリエイターズリンクによるクリエイターの創作活動への支援 相談等対応 188 件 ②山梨県芸術文化協会への補助金の交付（再掲） ③やまなし県民文化祭の開催（再掲） 令和 7 年 6 月～令和 8 年 2 月 29 回 部門別フェスティバルへの出演・出品者 3,326 人 ④山梨芸術劇場の開催 令和 7 年 9 月～12 月 6 回 ⑤やまなしメディア芸術アワードの開催 令和 7 年 8 月～令和 8 年 3 月 国内外から 294 作品の応募 ⑥県立 4 館における企画展・特別展の開催 10 回 観覧者 154,568 人 ⑦県立 4 館における教育普及事業の実施 914 回 参加者 53,262 人

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
無形民俗文化財の 継承と振興 【文化振興・文化財課】 ①② 【社会教育課】 ③	文化財保護費 (2,700) 2,633 ② 社会教育振興費 (4,321) 4,321 ③	文化芸術の持つ多様な価値を改めて深掘りするとともに、地域住民や観光客などとその価値を広く共有できるよう、文化芸術活動における「伝える力」や「稼ぐ力」の向上支援に取り組んだ。 これにより、無形民俗文化財の継承と振興及び先人達によるふるさとの記憶の保存に寄与した。 ①地域における計画的な文化財の保存と活用の取り組みを支援（再掲） 市町村の文化財保存活用地域計画策定を支援 文化財保存活用地域計画策定市町村 国認定 4 市、策定中 3 市 文化財新任職員等研修会の開催 1 回 ②無形民俗文化財を継承する保存団体等への助成 18 件 ③ふるさと記憶遺産プロジェクト事業の実施 1 市
史跡等文化財の適切な継承と保存による地域活性化 【文化振興・文化財課】 ①② 【景観まちづくり室】 ①	文化財保護費 (52,770) 43,292 [7,952] ①② 公 園 費 (38,838) 38,838 ①	史跡等の文化財を次代へ着実に継承しつつ、更なる活用を推進するとともに、観光活用による地域の賑わいの創出や活性化に向けた取り組みを支援した。 これにより、史跡等文化財の適切な保存・継承と観光資源としての活用による地域活性化に寄与した。 ①甲府城跡保存活用計画に基づく整備等 都市公園整備に向けた発掘調査及び地盤調査 史跡甲府城跡保存整備委員会の開催 3 回 ②地域における計画的な文化財の保存と活用の取り組みを支援（再掲） 市町村の文化財保存活用地域計画策定を支援 文化財保存活用地域計画策定市町村 国認定 4 市、策定中 3 市 文化財新任職員等研修会の開催 1 回 市町村埋蔵文化財専門職員等研修の実施 16 回 指定文化財を保存するための修繕等に対する助成 95 件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
価値の創造拠点としての県立美術館の確立 【文化振興・文化財課】 ①②③④	芸術文化振興費 (26,492) 25,527 ②	県立美術館を「新たな価値の創造拠点」へと進化させるため、最先端デジタル技術を活用した鑑賞機会を提供した。 また、「デザイン」を美術と日々の生活の間にある考え方の総体と位置付け、県立美術館に附属するデザインセンターを運営している。 これにより、価値の創造拠点としての県立美術館の基盤づくりに寄与した。 ①メタバースギャラリーの運用 令和7年4月～令和8年3月 ②美術館附属デザインセンターの運営（再掲） ③やまなしメディア芸術アワードの開催（再掲） 令和7年8月～令和8年3月 国内外から 294 作品の応募 ④美術館ビジョンに沿ったレストラン運営

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
美酒美食プロジェクトの取り組み 【観光振興グループ】 ①②③④⑤⑥⑦⑧ 【販売・輸出支援課】 ⑨	企画総務費 (50,467) 40,504 ①②③④⑥⑦ ⑧ 商工振興費 (45,934) 44,833 ⑤	山梨ならではの美食文化の下、多彩な料理店が集積し、味わうことの感動体験を求める人々で満ちあふれ、その活気がビジネス・チャンスを生み出す「グルメン・エコノミー（美食経済）」で賑わう地域を目指した取り組みを進めた。 生産者と飲食店等が連携し、県産食材の調達パスの多様化や高品質食材の開発・再発見を行い、県内観光施設を通じ、これらの食材を広く普及させる新たなプラットフォーム「やまなしグルメン・エコノミー会議」を開催。加えて、若手料理人によるチャレンジレストラン等を開催した。 これにより、本県ならではの美食文化の向上に寄与した。 ①県産食材活用コーディネーターの配置 令和7年7月 マッチング数 121 件 ②やまなしグルメン・エコノミー会議の開催（再掲） 2回 参加者 114 人 ③やまなしグルメン・エコノミー会議現地視察の開催（再掲） 2回 参加者 15 人 ④技術向上セミナーの開催（再掲） 2回 参加者 44 人 ⑤「Cave de ワイン県やまなし」の運営（再掲） 通年 ⑥博物館カフェの運営 通年 ⑦ダイニングプログラムの開催（再掲） 2回 チャレンジレストランの開催（再掲） 3回 ⑧山梨ゆかりのインフルエンサー交流会の開催 1回 参加者 97 人 ⑨県内生産者と飲食店等のマッチング（再掲） 県産食材のサンプル提供 70 件 取引開始 4 件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
山梨の食のブランド力強化 【観光振興グループ】 ①②③④⑤ 【畜 産 課】 ⑦ 【販売・輸出支援課】 ⑥	企 画 総 務 費 (7,397) 7,317 ②③④⑤ 農 業 総 務 費 (11,055) 9,158 ⑥ 畜 産 振 興 費 (50) 50 ⑦	首都圏において本県の食の魅力を発信するため、「Cave de ワイン県やまなし」で、県産食材を使用した料理や県産酒の提供・物販を行った。 また、「スイーツ王国」の実現に向け博物館カフェを運営し、県産果実を使った魅力あるスイーツを提供するとともに、若手のトライアルの場として、若手パティシエ等の人材育成を実施した。 さらに、県内飲食店や消費者にジビエの魅力を訴求し、ブランド価値の向上を図った。 これにより、本県の食の高付加価値化に寄与した。 ①「Cave de ワイン県やまなし」の運営（再掲） 通年 ②博物館カフェの運営（再掲） 通年 ③若手パティシエ伴走支援（再掲） 参加者 6 人 ④県内パティシエ等を対象とした講習会の開催(再掲) 5 回 参加者 87 人 ⑤やまなしスイーツコンテストの開催（再掲） 令和 7 年 10 月 応募総数 44 作品 ⑥デジタルとリアルを組み合わせたプロモーションの実施（再掲） 「やまなしジビエフェア 2025」の開催 令和 7 年 11 月～令和 8 年 2 月 参加飲食店等 16 店 県内外イベントでのジビエ PR 3 回 企業と連携したジビエ PR 2 回 学校給食へのジビエ活用 39 校 ⑦やまなしジビエの認証施設拡大に向けた取り組み 2 件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
飲食店等の集積と レベルアップの促 進 【観光振興グループ】 ①②③	企 画 総 務 費 (10,354) 10,261 ②	山梨の美食文化の担い手たる優良な飲食店、宿泊施設、料理人の集積を目指し、技術向上セミナーを開催した。 また、地域おこし協力隊の募集・伴走支援を実施し、県外の若手シェフに県産食材の魅力発信や本県での開業に向け、隊員の募集を行い、加えて、若手料理人によるチャレンジレストラン等を開催した。 これにより、県内シェフのレベルアップや県外シェフの本県での開業意欲促進に寄与した。 ①技術向上セミナーの開催（再掲） 2回 参加者 44人 ②観光地域おこし協力隊（食のテロワールパートナー）の活用（再掲） 2人 ③ダイニングプログラムの開催（再掲） 2回 チャレンジレストランの開催（再掲） 3回
山梨の美酒美食の 国際的な展開 【観光振興グループ】 【国際・水素戦略 推進課】 ①	諸 費 (52,375) 21,485 [30,844] ①	日本一の名水の地・山梨で造られる日本酒や、世界的に評価が高まっている県産ワインと、美食のマリアージュを堪能できるイベントを開催した。 これにより、本県の美酒美食の国際的な展開に寄与した。 ①日印美酒・美食フェスの開催 令和8年2月
地域特性を生かした文化創造への取り組み 【文化振興・文化財課】 ①② 【国際・水素戦略 推進課】 ③④	企 画 総 務 費 (23,983) 19,483 ③④	「アートシティ構想」を具現化し、全国から気鋭の芸術家や音楽家が集まり、世界に飛躍する「アートシティ」へ発展させるため、アーツコンシェルジュの役割を担うとともに、多様かつ独創性の高い作品を顕彰するコンテストを開催し、クリエイターのキャリア形成の場を整備した。 これにより、富士・東部エリアや八ヶ岳エリアなど地域特性を生かした文化創造に寄与した。 ①やまなしメディア芸術アワードの開催（再掲） 令和7年8月～令和8年3月 国内外から 294 作品の応募 ②やまなし クリエイターズリンクによるクリエイターの創作活動への支援（再掲） 相談等対応 188 件 ③学生アート交流カリフォルニア州派遣事業の実施（再掲） 令和7年11月 ④富士五湖自然首都圏フォーラムワーキンググループ活動支援補助金の交付 文化芸術分野 2 件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
文化芸術の総合的な振興 【文化振興・文化財課】 ①②③		文化芸術の振興及び文化芸術により生み出される価値の活用に関する施策を推進した。 これにより、豊かで活力ある地域社会の形成に寄与した。 ①やまなし県民文化祭の開催（再掲） 令和7年6月～令和8年2月 29回 部門別フェスティバルへの出演・出品者 3,326人 ②県立4館における企画展・特別展の開催（再掲） 10回 観覧者 154,568人 ③県立4館における教育普及事業の実施（再掲） 914回 参加者 53,262人

「山梨県総合計画」政策別実施状況

戦略	5	先進地「やまなし」を叶える道
----	---	----------------

政策	3	スポーツの振興	計画掲載施策数	9
【政策の基本的な考え方】 スポーツは、日常生活に活力をもたらすだけでなく、地域づくりや観光振興まで、ヒト・モノ・コトを呼び込む最も身近な原動力でもあります。 このため、公立中学校の休日における部活動の地域移行や新しいスポーツの普及・啓発など、誰もがスポーツに親しめる環境づくりにより、スポーツを振興し、自己の可能性を最大限に発揮して自分らしく豊かに暮らすための地域づくりを進めるとともに、本県の魅力を生かしたスポーツツーリズムの展開やスポーツコンテンツの発掘等により、スポーツで稼げる地域づくりを進めます。				
令和7年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担 当 部 局
	○ 誰もがスポーツに親しめる環境づくり		P. 201	観光文化・スポーツ部 外
	○ パラスポーツを楽しめる環境づくり		P. 202	観光文化・スポーツ部
	○ 「ちょいトレ」プロジェクトの推進		P. 202	観光文化・スポーツ部
	○ 青少年のスポーツ振興の環境整備		P. 203	教育委員会 外
	○ 「未来のトップアスリート」の発掘・育成		P. 203	観光文化・スポーツ部
	○ 「スポーツで稼げる地域づくり」の推進		P. 204	観光文化・スポーツ部
	○ スポーツツーリズムの推進		P. 204	観光文化・スポーツ部
	○ サイクル王国やまなしの実現		P. 205	県土整備部 外
	○ 国民スポーツ大会・全国パラスポーツ大会の推進		P. 206	観光文化・スポーツ部
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		1,105 百万円	
	前年度までの事業費		656 百万円	
	本年度の事業費		449 百万円	

成果指標の達成状況	(成果指標に関連する) 施策名		(成果指標担当部局名)		
	成 果 指 標	基 準 値 (基準年度)	目 標 値 (目標年度)	現 況 値 (現況年度)	進捗率(%)
	5-3-1 誰もがスポーツに親しめる環境づくり		(観光文化・スポーツ部)		
	週1回以上の運動・スポーツ実施率	69.3% (R 4)	70.0%以上を維持 (R 8)	70.0% (R 7)	100.0
	運動・スポーツ未実施率	21.3% (R 4)	10.0% (R 8)	45.0% (R 7)	△ 209.7
	5-3-2 パラスポーツを楽しめる環境づくり		(観光文化・スポーツ部)		
	障害者スポーツ大会、スポーツ交流教室等、パラスポーツ体験イベントへの参加者数	1,581 人 (R 4)	2,800 人 (R 8)	3,362 人 (R 7)	146.1
	5-3-3 「ちょいトレ」プロジェクトの推進		(観光文化・スポーツ部)		
	運動不足を感じる人の割合	43.9% (R 4)	30.0% (R 8)	40.8% (R 7)	22.3
	5-3-4 青少年のスポーツ振興の環境整備		(教育委員会)		
	公立中学校の休日における部活動を地域単位の活動に移行した市町村数	0 市町村 (R 4)	27 市町村 (R 8)	12 市町 (R 7)	44.4
	5-3-5 「未来のトップアスリート」の発掘・育成		(観光文化・スポーツ部)		
	発掘・育成した子ども数	20 人 (R 4)	100 人 (R 8)	97 人 (R 7)	96.3
	5-3-7 スポーツツーリズムの推進		(観光文化・スポーツ部)		
	観光客1人当たりの平均入場料・体験料等	660 円 (R 1)	1,000 円 (R 8)	1,169 円 (R7 速報値)	149.7
	5-3-8 サイクル王国やまなしの実現		(県土整備部)		
	モデルルート策定地域	6 エリア (全9エリア) (R 4)	9 エリア (R 8)	9 エリア (R 7)	100.0
	5-3-8 サイクル王国やまなしの実現		(観光文化・スポーツ部)		
	サイクルツアーガイド養成数	15 人 (R 4)	45 人 (R 8)	46 人 (R 7)	103.3

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
誰もがスポーツに親しめる環境づくり 【スポーツ振興グループ】 ①②③ 【保健体育課】 ④ 【学校施設課】 ⑤	体 育 振 興 費 (2,637) 1,903 ①②③④ 学 校 建 設 費 (212,304) 212,300 ⑤	県民一人ひとりが、ライフステージに応じて日常的にスポーツに参画し体験できるよう、県スポーツ推進計画において「一人一スポーツ」を実現する具体案を示すとともに、市町村や地域スポーツ団体、民間スポーツクラブ等と協力し、運動やスポーツへ取り組む機会の充実を図った。 これにより、生涯にわたって豊かなスポーツライフを楽しめる社会の実現に寄与した。 ①山梨県スポーツ推進審議会の開催 1 回 ②総合型地域スポーツクラブの設立・運営及び市町村との連携について支援 27 市町村 ③やまなし総合型クラブ交流イベントの開催 令和 7 年 11 月 ④アクティブキッズ促進プログラム事業の実施 参加校 35 校 ⑤県立高校グラウンドの芝生化の実施 日川高校

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
パラスポーツを楽しめる環境づくり 【スポーツ振興グループ】 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	社 会 福 祉 費 (50,478) 47,199 ①②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨	県内パラスポーツの拠点となるやまなしパラスポーツセンターを運営するとともに、市町村や企業などの協力も得ながら、障害の有無にかかわらず誰もがパラスポーツに親しめる環境づくりを進めた。 これにより、障害のある方がスポーツ活動に参加する機会の充実が図られた。 ①やまなしパラスポーツセンターの運営 通年 ②障害者スポーツ大会の開催 (6 日間) 参加者合計 1,038 人 ③障害者スポーツ教室等の開催 参加者 2,221 人 ④パラスポーツ体験イベントの開催 参加者 103 人 ⑤障害者スポーツ指導員の養成 15 人 (初級 13 人、中級 2 人) ⑥障害者スポーツ指導員の派遣 14 回 派遣数延べ 41 人 ⑦市町村連携サポーターの配置 1 人 ⑧障害者スポーツ用具の整備 3 件 ⑨パラスポーツ普及モデル事業への支援 5 市町
「ちょいトレ」プロジェクトの推進 【スポーツ振興グループ】 ①	———	誰もが気軽に運動を楽しむ足掛かりを提供するため、令和 5 年度に県内の 24 公園に設置した健康器具について県民に情報提供し「ちょいトレ」プロジェクトを推進した。 これにより県民の身体を動かす機会の充実が図られた。 ①ホームページ等による「ちょいトレ」の効果や設置場所の周知 通年

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
青少年のスポーツ 振興の環境整備 【保健体育課】 ①②③ 【スポーツ振興グループ】 ④	体 育 振 興 費 (4,650) 4,364 ②③ 公 園 費 (9,350) 9,328 ④	公立中学校の休日における部活動の地域展開に向けて、市町村の体制整備への支援を行う総括コーディネーターを配置するとともに、地域での指導者確保を支援するための人材バンクの改修等を行った。 新たに「やまなし部活動改革及びやまなし地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」を策定し、公立中学校の休日における部活動の地域展開を進めた。 また、市町村・民間の協力も得ながら、身近で新しいスポーツが楽しめる環境づくりを進めた。 これにより、新たな地域クラブ活動の環境整備などを通じた青少年の多様なスポーツへの機会の確保に寄与した。 ①「やまなし部活動改革及びやまなし地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」の策定 令和8年3月 ②県総括コーディネーターの委嘱 1人 ③やまなし地域クラブ活動等人材バンクシステム（スポカルやまなし）の改修等 通年 ④小瀬スポーツ公園スケートボード優先エリアへの滑走用設備の設置
「未来のトップアスリート」の発掘・育成 【スポーツ振興グループ】 ①②③④	体 育 振 興 費 (56,913) 52,813 ①②③④	競技団体に加え、大学教授、スポーツドクターなど多方面の専門家と連携・協働し、小学生世代から複数競技の体験などを行い、将来性を見極めながら適性競技へとつなげるとともに、育成する競技団体への支援を行った。 これにより、小・中学生世代の優れた資質を持つトップアスリートの発掘・育成と競技力向上に寄与した。 ①「甲斐人の一撃」スキルアップ教室の実施 12競技 57人 延べ49回 ②ジュニア層対象の発掘・育成を行った競技団体数 35競技団体 ③第79回国民スポーツ大会入賞数 延べ64件 ④公認スポーツ指導者資格の取得支援 11競技団体 27人

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
「スポーツで稼げる地域づくり」の推進 【スポーツ振興グループ】 ①②③④⑤	企画総務費 (5,325) 5,133 ①⑤	スポーツと観光、文化など地域資源を融合させたスポーツツーリズム、アウトドア・アクティビティの推進や、スポーツ合宿・イベントの誘致・推進を行った。 また、県内の新規性の高いスポーツイベントに対して支援を行った。 これにより、「スポーツで稼げる地域づくり」に向けた機運醸成に寄与した。 ①サイクルイベントの開催 3回 うちアウトドア・アクティビティを取り入れたもの 1回 ②サイクルツアーガイドの養成・活用(再掲) ガイド養成 6人(累計46人) ガイド活用 延べ100人 ③スポーツ合宿・イベント・教育旅行の誘致・推進 富士北麓公園の合宿利用 17団体 ④総合球技場整備の実現プランの検討に向けた先進地視察 1回 ⑤スポーツイベント開催への支援 2件
スポーツツーリズムの推進 【スポーツ振興グループ】 ①②③	—————	やまなしスポーツエンジンが主体となり、本県の豊かな自然環境などの魅力を生かしたサイクルツアーや、アウトドア・アクティビティの推進など、本県の魅力を高めるスポーツツーリズムを展開するとともに、スポーツ合宿やイベントの誘致を進めた。 これにより、スポーツによる地域活性化が図られた。 ①サイクルイベントの開催(再掲) 3回 うちアウトドア・アクティビティを取り入れたもの 1回 ②サイクルツアーガイドの養成・活用(再掲) ガイド養成 6人(累計46人) ガイド活用 延べ100人 ③スポーツ合宿・イベント・教育旅行の誘致・推進(再掲) 富士北麓公園の合宿利用 17団体

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
サイクル王国やま なしの実現 【道路整備課】 ①② 【スポーツ振興グループ】 ③④	道路橋りょう整備費 (11,996) 2,960 [9,036] ①② 道路橋りょう総務費 (187) 7 ①② 道路橋りょう建設費 (156,104) 111,507 [44,597] ①	「サイクル王国やまなし」を実現するため、観光資源を活かしたモデルルートを策定し、自転車の走行環境整備に取り組むことにより、誰もが安全に安心して気軽に自転車を楽しめる環境づくりを推進した。 また、富士山一周のサイクリングルートの自転車利用環境の整備を行い、静岡県と連携してナショナルサイクルルートの登録を目指した。 経験豊富なサイクリストを講師とし、必要な観光案内や安全走行などの知識、技術を学ぶサイクルツアーガイドの養成講座を実施し、複数のサイクルツアーにおいて活用した。また、市町村と連携したサイクルツアーを開催した。 これにより、誰もが安全で快適に自転車を活用し、観光や健康増進などに生かす「サイクル王国やまなし」の実現に寄与した。 ①自転車走行環境の整備 矢羽根型路面標示設置 2路線 延長 3.8 km ②富士山一周ルートのナショナルサイクルルート登録に向けた取り組み 協議会の開催 2回 サイクリングマップの作成 ゲートウェイ、サイクルステーション環境整備 ③サイクルツアーガイドの養成・活用（再掲） ガイド養成 6人（累計 46人） ガイド活用 延べ 100人 ④市町村と連携したサイクルツアーの実施（再掲） 3回

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
国民スポーツ大会・全国パラス ポーツ大会の推進 【国スポ・全スポレガシー創出 ・競技力向上推進グループ】 ①③ 【国スポ・全スポ施 設整備グループ】 ②	体 育 振 興 費 (1,451) 1,027 ①②③	社会情勢の変化などを踏まえ、従来のやり方にとらわれない共生社会と持続可能性に重点を置いたスポーツ大会の在り方を検討する中で、国民スポーツ大会及び全国パラスポーツ大会の開催に向けた準備を進めた。 また、国民スポーツ大会の競技会場となる会場地市町村の選定にあたり、市町村と競技団体と調整を図りながら第３次選定まで行い、開催準備を進めた。 これにより、両大会の開催に向けた取り組みの推進に寄与した。 ①国民スポーツ大会・全国パラスポーツ大会の運営方法の検討 総会の開催 １回 常任委員会の開催 ２回 各種専門委員会の開催 ３回 ②競技会場の選定 ５５ 競技会場地 ③愛称・スローガンの募集開始 ※スポーツ基本法の改正（令和７年９月１日施行）に伴い、施策名を変更しています。